

## 第24回 我孫子市放射能対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成24年6月27日（水）9:00～10:30

【出席者】 市長、副市長、総務部長、企画財政部長、市民生活部長、都市部長、建設部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、環境経済部参与、秘書広報課長、教育委員会総務課長、学校教育課長（代理）、施設管理課長、道路課長、下水道課長、農政課長、公園緑地課長、手賀沼課長、商工観光課長（代理）、子ども支援課長、健康づくり支援課長、水道局工務課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について（各課）

なし

（決定事項）

（2）我孫子市放射能対策総合計画（素案）について

○ 第二篇 放射能対策の「4つの柱」

- ・ ふれあい懇談会での、ホールボディカウンター測定の助成年齢の拡大についての意見を反映させた。
- ・ 手賀沼終末処理場周辺の放射線量を懸念する声が多いため、「1-5. 手賀沼終末処理場周辺の放射線量の監視」を追加した。
- ・ 「[4]産業を守る」、は当初「[2]食を守る」に含めていたが、独立させ、4つ目の柱とした。

[1] 住環境を守る

- ・ 6 ページ、走行サーベイについては、文部科学省が6月29日に公表する予定なので、航空機モニタリングと合わせて、結果を掲載すべきである。
- ・ 「焼却灰の処分」という記述は、市民向けではない。「家庭ごみの収集」等、表現の仕方を検討すべきである。
- ・ 12 ページに、周辺農家の意向を確認した上で「クリーンセンター周辺の放射線量の監視」を追記した方が良い。
- ・ 9 ページ、「ストックヤードの確保を検討します」を「確保します」に改める。
- ・ 11 ページ、「1-2. 市内全域の着実な除染」では参考資料として、県の管理する施設の除染計画も掲載する。
- ・ 2 ページ、計画期間の表について、平成25年度で終了するイメージを抱かれる。平成25年度以降も引き続いて、実施するということを強調するよう工夫すべきである。
- ・ P.7「子どもの生活空間の除染状況」の表に、除染を終了した学校や公園の数が示してあるが、具体的な名称にした方が良い。分量が増えても、測定結果などを資料として掲

載し、総合計画を見れば、現在の状況が把握できるようにした方が良い。

[2] 食を守る

なし

[3] 健康を守る

- ・ ホールボディカウンターの測定結果については、データが集まった時点で、専門機関に、データの評価を依頼する予定なので、《今後の方針》に追記する。

[4] 産業を守る

なし

○ 第三編 計画推進のために

- ・ 24 ページの推進体制のイメージ図は削除する。
- ・ 手賀沼に関しては、国・県がモニタリング調査をしており、我孫子市で主体的な放射能測定・除染は出来ない。状況に応じて、対応を県に求める形なので、25 ページ、「3. 国、県などへの要望活動」に記述できないか。
- ・ 26 ページ、4～8 行目の記述は、平成 23 年 8 月 26 日付で示された「除染に関する緊急実施基本方針」と同日に一部施行された「放射性物質汚染対処特別措置法」について補足説明をする等、内容を整理する。